



平成17年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成16年8月20日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社

(コード番号 6806 東証第1部)

(URL : http://www.hirose.co.jp/)

問合せ先 代表者名 代表取締役社長 中村 達朗

責任者名 取締役管理本部長 串田 榮

TEL (03)3491-5300

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：有

- 有形固定資産の減価償却について、年間見込額の当四半期分を計上するなど、一部簡便な方法を採用しております。
- 有機EL事業を取得したヒロセエンジニアリング(株)を当期より連結子会社にいたしました。また、ヒロセコリア(株)(関連会社)については、重要性が増してきたため、当期より持分法を適用いたしました。

2. 平成17年3月期第1四半期業績の概況(平成16年4月1日~平成16年6月30日)

(1)売上高・経常利益

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	23,061	-	7,815	-
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	79,012		25,957	

(注)前年同四半期実績については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。

[売上高等に関する補足説明]

当第1四半期のわが国経済は、米中経済の好調さなどに支えられ、輸出と設備投資が増加し、個人消費、雇用情勢も改善されるなど、堅調な回復を続けました。

当エレクトロニクス業界におきましても、高機能携帯電話を中心とした情報・通信関連分野の拡大やデジタル情報家電の需要などに支えられ、好調な状況でありました。

このような環境下で、当第1四半期の連結売上高は230億6千1百万円、連結経常利益は78億1千5百万円(利益率33.9%)となりました。

(2)当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

[概要]

該当する事象はありません。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	45,000	14,500	8,500
通期	89,000	28,900	17,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 436円92銭

[業績予想に関する定性的情報等]

売上高、利益ともに予定通り推移しており、前回決算発表時点(平成16年5月21日)の見通しと変わっておりません。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報により当社が合理的と判断したものであり、実際の業績は、予想と異なることがあります。

以上